

## [07] エネルギー史研究ノート表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/13831>

---

出版情報：エネルギー史研究ノート．7，1976-10-15．エネルギー史研究会  
バージョン：  
権利関係：

## 編集後記

○ 本誌も発行以来満三年を過ぎました。はじめ予想したよりも障害は案外少なく、比較的順調に進んできたように思います。しかし、それだけに今後はとくに内容の充実に努めねばなりません。今回は東京から新鋭の研究者宇田川・和田両君の論文を得て幸に思います。九州にも若い研究者出でよと声を大にして叫びたい気持です。私自身も此の方面の専門ではないだけに、そして九州の地元にいるような形で第一級の資料があり、土地と人にと直接ふれ得ることが出来、しかも今の時機を逸してはならないと思うだけに、若い研究者の出ることを心から望んでいます。

○ 本誌が石炭に主力を置いていることは勿論ですが、同時に風力・水力・石油・電気等々についても、もつと報告や資料があつてよいと思います。最近、幕末の製鉄史を研究している方から示唆を受けたのですが、石炭との関連において木炭の歴史を見ることも重要なようです。いろいろな意味で本誌を利用して発表して下さい。

○ 宮本又次先生の古稀祝賀論文集には五〇篇の論文が集まりましたが、エネルギー史研究会のメンバーによって「石炭産業の発展とその周辺」という一部門をつくり、幕末から明治期の九州の石炭をうかがう九篇の論文を並べました。石炭産業史の研究を推進するのに多少の役割は果たすことと思います。来年二月刊行の予定です。

○ 来年五月には九州大学において社会経済史学会の大会が開催されます。第二日目の共通論題は「エネルギーと経済発展」の予定で、すでに報告打合せ会を重ねています。風力（帆船）、水力（水車）、蒸気力（石炭）、電力等を幕末から大正期にかけてとりあげ、ことに石炭に主力をおく予定ですが、第一日目の自由論題の報告にも

日本・外国の一般部会のほか、エネルギー史の部会を設け個別研究を発表してもらう計画を立てています。若手研究者諸君の発表を期待していますので、ふるってお申込み下さい。

○ 『九州石炭産業史資料目録』第三集の編集作業中です。各位の御援助、御協力を心からお願ひ致します。

○ 次号は十二月末までに原稿を集めたいと思います。

○ 編集者は九月初めから十一月初めまでヨーロッパ出張です。ボツムの鉱山博物館はじめ石炭史に関するものにも、出来るだけふれたいと思っています。  
(S・H・)

### 『エネルギー史研究ノート』 第七号

一九七六年十月十三日印刷

一九七六年十月十五日発行

### 編集

九州大学経済学部日本経済史研究室内

エネルギー史研究会

### 発行

福岡市中央区薬院四丁目一三一五一

財団法人 西日本文化協会

電話 〇九二(五三二)四五三八(代表)

振替口座 福岡一五九一八